

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	緩和ケアと終末期看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	通年	教室名	各教室
担 当 教 員	伊藤裕子	実務経験と その関連資格	総合病院で勤務、がん化学療法看護認定看護師としての経験あり			
《授業科目における学習内容》 様々な疾患の全人的苦痛とその家族の苦悩を理解し、緩和ケアの基本について学ぶ 患者とその家族が抱える全人的苦痛・苦悩を理解し、緩和に向けて必要な技術・知識を学ぶ 終末期の特徴、終末期における患者・家族を理解し、終末期の看護を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験・出席状況並びに事前課題レポート、課題提出状況にて総合的に判断する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア □ 系統看護学講座 別巻家族看護学(参考図書)						
《授業外における学習方法》 終末期にある患者の疾患別看護の授業で学んだことを復習しておく。授業内容を振り返りノートにまとめる。						
《履修に当たっての留意点》 患者・家族の全人的苦痛とは何か、緩和ケアとは何か、終末期看護とは何か、を考えながら教科書を読み事前学習をして授業に臨むこと						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアについて概要をまとめることができる		教科書他	事前学習に取り組む
		各コマにおける授業予定	緩和ケアの現状と展望 ・緩和ケアの歴史と発展 ・緩和ケアの理念 ・緩和ケアの展望			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアにおけるチームアプローチ、コミュニケーション、倫理的課題について説明することができる		教科書他	事前学習に取り組む 授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	緩和ケアにおけるチームアプローチの意義 緩和ケアにおけるコミュニケーションの基本的知識 緩和ケアにおける倫理的課題:意思決定支援			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的・心理的ケア・社会的・スピリチュアルケアについて説明することができる		教科書他	事前学習に取り組む 授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	全人的ケアの実践 ・身体的ケア:苦痛をやわらげ日常生活を営むための援助			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的・心理的ケア・社会的・スピリチュアルケアについて説明することができる		教科書他	事前学習に取り組む 授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	全人的ケアの実践 ・心理的ケア:病によるストレスへの対処の力とその支援 ・社会的ケア:住み慣れた地域での暮らしの支援 ・スピリチュアルケア:「生・老・病・死」に向き合う苦悩を支援			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアの広がりについて説明することができる		教科書他	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	・ライフサイクルにおける広がり ・さまざまな疾患における広がり ・療養の場の広がり:地域・施設・在宅			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	臨死期のケアについて説明することができる	教科書他	事前学習に取り組む 授業内容をまとめ復習 する。
		各コマに おける 授業予定	臨死期のケア ・臨死期の概念とケアの目標 ・臨死期における全人的苦痛の緩和		
第 7 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	家族ケアについて説明することができる	教科書他	事前学習に取り組む 授業内容をまとめ復習 する。
		各コマに おける 授業予定	・家族の定義と家族ケアのあり方 ・家族ケアの方法 ・グリーフと遺族ケア		
第 8 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	終末期における看護について説明することができる	教科書他	事前学習に取り組む 授業内容をまとめ復習 する。
		各コマに おける 授業予定	・終末期の特徴 ・終末期にある患者への看護援助		